

## JKA補助事業

2022年度 フルードパワーの国際競争力に資する標準化推進 補助事業

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

### 1 補助事業の概要

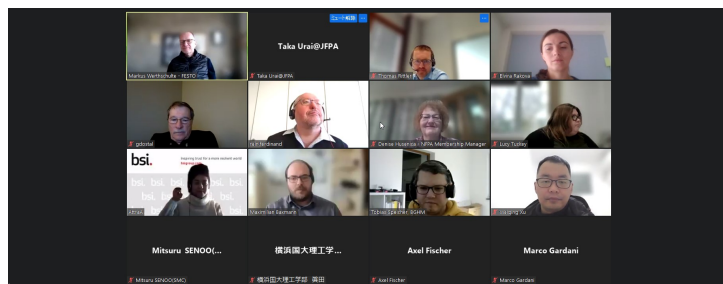
#### (1) 事業の目的

ISO/TC131の全てのSC/WG及びISO/TC118/SC3のWGに専門家委員を派遣し、国際規格開発の初期段階から、日本の提案、意見を反映させ、日本を利する国際規格策定を目指す。また、国内では、各国内分科会において、規格内容の精査、規格化の進め方などを審議し、標準化活動を推進する。

#### (2) 実施内容

①今年度も、新型コロナウイルスの影響により、ISO/TC131国際会議はウェブ会議のみに参加し、ISO/TC118は一部対面会議も参加、いずれも日本の意見の反映に努めた。

また、発行されたISO審議案件132件についてすべて回答し、日本の意見の反映に努めた。



ISO/TC131 国際会議（ウェブ会議）の様子



ISO/TC118 国際会議（対面会議）の様子

## 2 予想される事業実施効果

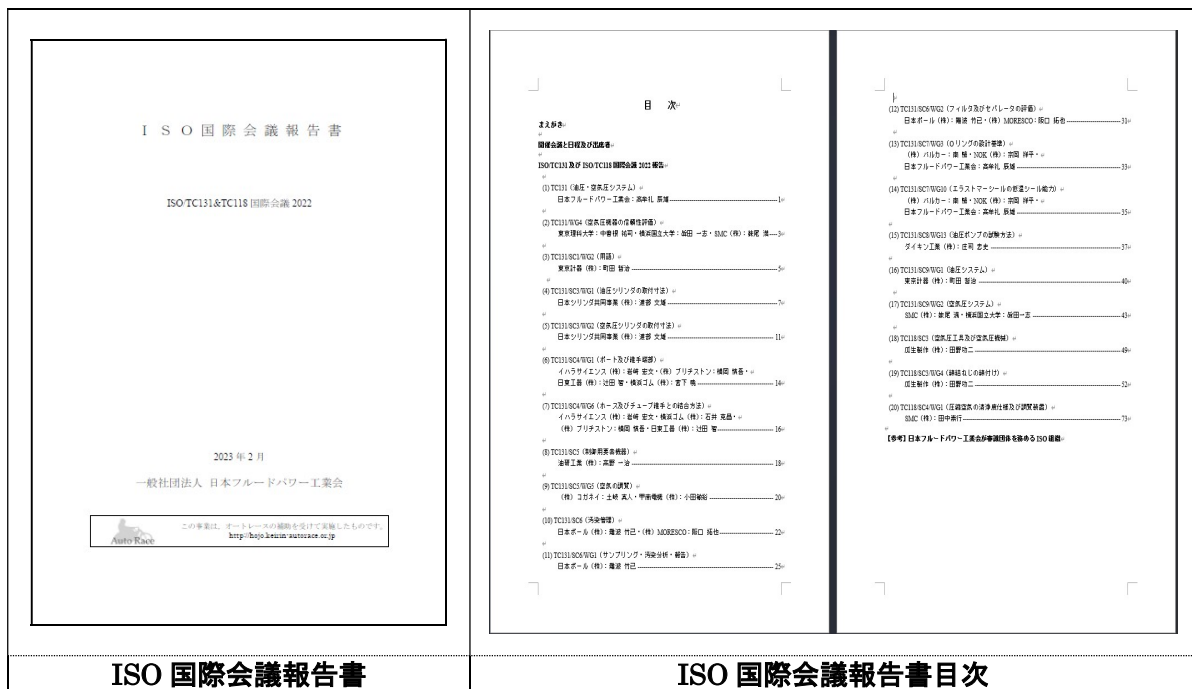
フルードパワーは、日本、アメリカ、ヨーロッパの3極が世界をリードしている技術分野である。日本はISO/TC131（フルードパワーシステム）創立時から活動して来ており、TC131内における日本の存在感は高いと言える。一方、従来の3極化に加え、近年、中国も台頭もめざましくなっている。

そのような状況の中、国際標準化活動を継続し、フルードパワーに関する規格化に積極的に関与することは、我が国のフルードパワー産業の発展に不可欠な重要な活動である。

グローバル化が進む中で、我が国のフルードパワー産業の一層の競争力強化を図るために、標準化活動において海外団体から提案された規格内容を精査し、我が国に不利にならないよう対応すること及び我が国から提案した事案を規格化することによって我が国の存在感を一層高めることが見込まれる。

## 3 補助事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの：ISO国際会議報告書



この事業はオートレース  
の補助を受けて実施して  
います。

